

# 葉月愛南文芸

## 城辺俳句会

## 城辺川柳会

万緑に弘法の寺つつまれる

吉田 丸美

鮎解禁釣人の背に考俣ぶ

仙波登志子

山頂は雲に隠れて梅雨に入る

加納 幸子

風五月昼食に出るサラリーマン

井手 幸子

万緑の山せまり来て峡の道

宮田志賀子

紫陽花を一鉢増やし子福もの

山本 節子

水面にも時は流れて金魚鉢

山田 静恵

薔薇一輪活け一部屋の暮らしかな

橋本 百代

万緑や青き地球を誇りたし

田村 治子

梅雨寒や異国は今日も砲火飛び

大浜 紀子

岬回へ手みやげ枇杷の大き枝

大和田いそ子

「笑う」

風呂敷のような笑顔のお母さん

橋本 百代

初対面笑顔も添えておもてなし

稲田つるみ

山道を走り降りれば脛笑う

藤森 玉子

笑う門福が来すぎて入られぬ

矢鋪 都

チョーかわいい乳歯の抜けた笑い顔

木戸富士子

一円を笑うが税は几帳面

本多 一会

笑うしかない程ふえた皺の数

本多 暁

集まって笑う間は上機嫌

飯田 律子

父の日に嫁の花束湧く笑顔

沖 佐賀

